

まちに恋する、広報紙。

皆さんが今、手にしている広報みよし。昭和34年に創刊し、三芳町の長い歴史を見守ってきました。今月の特集では、どのようにして作られ、歩んできたのか……。そして多くの人から、なぜ愛されてきたのか、その裏側に迫ります。

手作りの広報みよし

広報みよし……。三芳町に転入して来た人のなかには、以前住んでいた自治体の広報紙とのギャップに驚く人も少なくありません。また、「三芳町の広報はお金をかけているのではないか」という声をいただくことがあります。

今、皆さんが手にしている広報みよしは取材・紙面編集・写真撮影・デザイン・レイアウト・文章・画像の加工や校正など、印刷以外の全てを三芳町職員が手作りで制作しています。

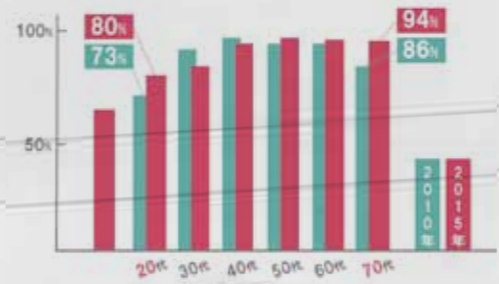
さらにスマホをかざすと写真が動くAR（拡張現実）や動画なども委託をせず、自製することで、印刷・製本以外の費用を一切かけずに、旬の情報や町か

らのお知らせ、輝く住民の皆さんの情報をお届けしています。

読む価値のある広報

平成22年の住民意識調査によると住民の約8割が町の情報は広報みよしから得ているという結果になりました。広報みよしは、三芳町に暮らす住民の皆さんにとって、欠かすことのでき

ないものと言えます。しかし、平成23年に広報みよしについて住民向けのアンケートを実施した結果、「読みにくい」「行政に興味がない」「2色刷りで地味」「インターネットが普及をしているので、広報紙は必要ないのではないか」などの意見が寄せられました。いただいた皆さんの意見を参考に広報の見直しを行い、平成



← 2010年と2015年に行われた住民意識調査「町の情報は何で得ているか」の結果、広報みよしで情報収集をほとんどの人がしているという結果に。リニューアル後の2015年を見ると、20代の割合が増える一方で、70代は94%と、ほとんどの人が広報みよしを読んでいることが分かります。

24年6月号から広報みよしは一新され、今の形となりました。

それまで編集に関わるデザイナーやレイアウトなど、業者委託していたものを見直し。皆さんからいただいた税金を一元も無駄にしないように、職員が

手作りで制作。大幅なコスト削減を実現しました。

リニューアルにあたり、町が一番大切にすることは「住民が主役の広報紙」を作ることです。それまでは、お知らせ情報を一方的に伝えるものでしたが、三芳町の魅力がギュッと詰まったコト・モノ・ヒトをお届けすることで、一方通行の広報紙ではない、読む価値のある、愛着ある、三芳町らしい広報紙をめざしました。

若い世代からも支持

コストを削減した結果、質が

下がってしまったって意味がありません。幅広い年齢層に手に取って読んでいただけるように、直感的に「面白そう」と感じる写真やレイアウト、分かりやすく伝える工夫をすることで、若い世代にも支持される広報紙に変わりました。

住民が育てた広報紙

三芳町が魅力的な町で、住民一人ひとりが輝いている。いわば、広報みよしの演出者は住民の皆さん……。

皆さんの想いが広報紙を通じて評価され、3年前に全国広報コンクールで日本一の内閣総理大臣賞を受賞しました。

住民の皆さんに育てられた広報みよし。どのように作られているのか、そして住民の皆さんとの繋がりが、自治体広報紙のこれからについて、今月の特集で迫ります。

広報みよしの発行内容

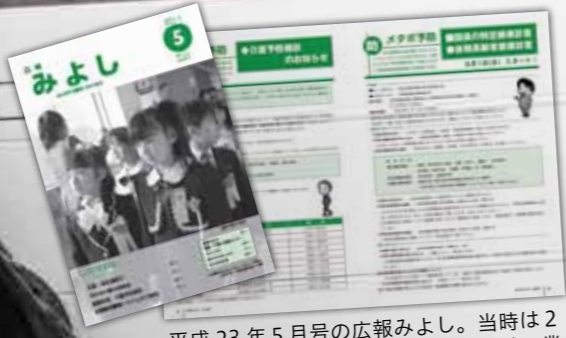
| 年度 | 発行部数 | 金額 | 広告収入 | 一部単価 |
|----|---------|-------------|------------|--------|
| 23 | 15,400部 | 11,167,508円 | 1,440,000円 | 52.63円 |
| 24 | 15,600部 | 6,144,919円 | 1,440,000円 | 25.13円 |
| 25 | 15,600部 | 5,569,200円 | 1,440,000円 | 21.91円 |
| 26 | 15,700部 | 5,852,520円 | 1,440,000円 | 23.42円 |
| 27 | 16,000部 | 5,935,680円 | 1,440,000円 | 23.41円 |
| 28 | 16,000部 | 5,935,680円 | 2,304,000円 | 18.91円 |

広報みよしでは、お知らせページに広告を入れることにより、財源確保を行っています。また、職員ができることは職員で自製。コストを極限まで削除しつつ、町を知る職員が作るからこそ、質の高い広報紙を発行することができます。

| 年度 | 発行部数 | 金額 | 広告収入 | 一部単価 |
|-------|---|----------------|------|------|
| 昭和34年 | 4月25日 | 広報みよし創刊。 | | |
| 昭和45年 | 11月3日 | 村から町へ（町民の日）。 | | |
| 昭和48年 | 9月 | 広報みよし100号発行。 | | |
| 昭和57年 | 1月 | 広報みよし200号発行。 | | |
| 昭和61年 | 3月 | 広報みよし300号発行。 | | |
| 平成元年 | 町のマスコットキャラクターの名前が「みらいくん」に決定。 | | | |
| 平成2年 | 5月 | 広報みよし400号発行。 | | |
| 平成6年 | 7月 | 広報みよし500号発行。 | | |
| 平成10年 | 11月 | 現在の三芳町役場庁舎に移転。 | | |
| 平成14年 | 9月 | 広報みよし600号発行。 | | |
| 平成19年 | 11月 | 広報みよし700号発行。 | | |
| 平成22年 | 1月 | 広報みよし800号発行。 | | |
| 平成24年 | 町制40周年を記念し「みらいくん」のガールフレンドとして「のぞみちゃん」誕生。 | | | |
| 平成25年 | 2月 | 広報みよし900号発行。 | | |
| 平成27年 | 5月 | 広報みよし1000号発行。 | | |

広報みよしの歴史「町の出来事など」

自治体広報の甲子園ともいえる「全国広報コンクール」で日本一に。広報みよしの号外を発行し、周辺の駅などで配布しました。



平成23年5月号の広報みよし。当時は2色刷りでデザインやレイアウトなどは業者に委託をしていました。

